

## 第23回マルちゃん杯近畿少年柔道大会要項

### 1 目的

柔道の試合を通じて心身の鍛練及びその技能を磨き、将来を担う近畿地区の少年相互の親睦を図り、明るく、正しくそしてたくましい少年の健全育成を目的とする。

### 2 主催

近畿柔道連盟、東洋水産株式会社

### 3 主管

大阪府柔道連盟

### 4 後援(予定)

(公財) 全日本柔道連盟、大阪府、大阪市、大阪市教育委員会、(公財) 大阪体育協会  
大阪市体育協会、大阪日日新聞、読売テレビ、毎日放送、関西テレビ、朝日放送  
テレビ大阪、ベースボール・マガジン社「近代柔道」、(株) 関西スーパーマーケット  
(株)スーパーナショナル

### 5 日時

平成30年5月20日(日)

(開場 選手・監督8時30分、一般9時00分 開会式9時45分、16時終了予定)

### 6 場所

大阪市中央体育館 大阪市港区田中3-1-40 TEL 06-6576-0800  
(大阪市営地下鉄・朝潮橋駅下車徒歩5分)

### 7 試合種別

小学生の部、中学生男子の部、中学生女子の部による団体試合とする。

**出場チームは各種別において1団体1チームとする。**

### 8 参加資格

- (1) 対象は小・中学生とし、現に加盟団体の市町村の小・中学校に在学している者であって、全日本柔道連盟に登録(団体登録)をしている「学校」「柔道場」「クラブ」「スポーツ少年団」とする。

(未登録チームは出場できないので、登録をしていないチームは速やかに所属の都道府県から団体登録を行うこと。また各団体は登録を確認のうえ申し込みをすること。)

- (2) 監督は原則として、小学生の部・中学生の部の監督兼任は認めない。

但し中学生の部にあっては監督及び特別顧問資格者が1人の場合は男女の兼任を認める。ただし、男女の試合が同時進行する場合は、各チームに責任者(保護者可)が居ることとする。

- (3) 選手は、出場するチームを通して、全日本柔道連盟登録(競技者登録)をしていること。また、引率する監督は、指導者登録をしている者とする。

なお、選手を臨時に他のチームから移籍する等の行為があった場合は、そのチームを失格とし、今後の本大会への出場を認めない。

- (4) 選手本人の出場意思を確認し、健康に十分な配慮を行い、保護者並びに団体の承認を得ていること。

- (5) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行なうこと。

万が一、皮膚真菌症の感染が判明した場合は、大会に出場できない場合もある。

- (6) 脳震盪対応について

- ①大会 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け、出場の許可を得ること。
- ②大会中、脳震盪を受傷した者、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
- ③練習再開に関しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

## 9 審判規定

(1) 試合は、国際柔道連盟試合審判規定及び少年大会特別規定で行う。

「IJF 審判規定」による。\*2018.2.3 版

\*追記 2018年3月6日付 少年大会における「両袖を持って施す投げ技」の取り扱い並びに国内における「少年大会特別規定」への反映 第27条 反則負け 3.〔両袖を持って投げ技を施すこと〕を追記させていただきます。

(2) 試合時間は各部 2 分とする。但し決勝戦のみ 3 分とする。

(3) 勝敗の決定基準は「一本」「技有」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技有)がない、又は同等の場合、「指導」差が 2 つ以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差がなく、かつ「指導」差が 1 以内の場合は「引き分け」とする。

## 10 試合方法

(1) 試合は団体対抗点取試合とし、トーナメント戦によって実施する。勝敗の決定は次による。

ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

イ アで同等の場合は「一本」(それと同様の勝ちを含む)による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

ウ イで同等の場合は「技有」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

エ ウで同等の場合は、「引き分け」であった対戦の中から 1 試合を抽選で選出し、準決勝までは 2 分、決勝戦は 3 分間の試合を行い、得点差が無い場合は旗判定(GS は行わない)で勝敗を決する。

(2) チーム編成

小学生・中学生男子の部は監督 1 名、選手 5 名、補欠 2 名の 8 名、中学生女子の部は監督 1 名、選手 3 名、補欠 1 名の 5 名とする。

但し、選手の配列は段級自由であるが、事故防止のため体重の重い選手より大将から配列すること。ケガ等で補欠起用が生じた場合は、改めて体重の重い順に大将から配列すること。また、欠員が生じた場合も同様とする。

※小学生の部においては、男女の混合は認める。

※中学生の部においては、男女の混合は認めない。

※選手起用については監督の責任の下、実力をそなえている者を出場させること。

## 11 表彰

(1) 各部優勝、準優勝、3 位(2 チーム)には、近畿柔道連盟及び東洋水産株式会社より優勝杯、賞品を授与する。

(2) 入賞チームの中から最優秀選手を選考し、各部 1 名にフレッド・ワダ杯を授与する。

(3) 入賞チームの中から優秀選手を選考し、小学生の部・中学生男子の部は 5 名・中学生女子の部は 3 名に優秀選手賞を授与する。

(4) 全国大会の出場チーム

平成 30 年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会

平成 30 年 9 月 23 日（日）東京武道館で開催

主催：（公財）全日本柔道連盟 特別協賛：東洋水産株式会社

小学生の部 上位 4 チーム	} を派遣する
中学生男子の部上位 6 チーム	
中学生女子の部上位 2 チーム	

なお、全国大会出場の選手は今大会のプログラムメンバーに限る。

## 12 申込方法

### (1) 申込期限

平成 30 年 4 月 5 日（木）必着（別紙申込書様式による）

### (2) 記入について

- ・学年は、新学年（平成 30 年度のもの）を記入する。
- ・選手の配列は、必ず体重の重い者より大将から並べる。なお、その後の体重変動があっても申込書提出後のオーダー変更は認めない。

### (3) 申込先・問い合わせ先

2018maruchanhai@gmail.com

大阪府柔道連盟（近畿マルちゃん杯・総務部）

TEL 06-6964-5553

## 13 選手の変更

### (1) 申込書提出後の選手変更（補欠を含む）は原則として認めない。

但し、選手の負傷などでやむを得ぬ事態が発生した場合の変更は、5 月 1 日（火）までに、大阪府柔道連盟（近畿マルちゃん杯・総務部）に申し出た場合に限り認める。

### (2) 補欠起用の場合は、大会本部選手変更係に申し出て、選手変更用紙を各試合会場へ持っていくこと。（体重順に配列すること）

負傷等により変更になった選手は、以後の試合には出場出来ない。

## 14 組み合わせ

平成 30 年 4 月 22 日（日）事務局において、大阪府柔道連盟及び東洋水産株式会社立ち合いの下に行う。

## 15 参加料

参加は無料

但し、宿泊費・交通費・食事については、各チーム負担とする。

## 16 監督者会議

平成 30 年 5 月 20 日（日）大会当日 9 時 00 分より体育館会議室にて行う。

## 17 傷害保険

### (1) 参加者は全員、主催者負担で傷害保険に加入する。

（参加者は健康保険証を必ず持参すること。）

### (2) 大会中の不慮の負傷、疾病については、応急処置は施すが、それ以外の責任は負わない。

## 18 ゼッケン

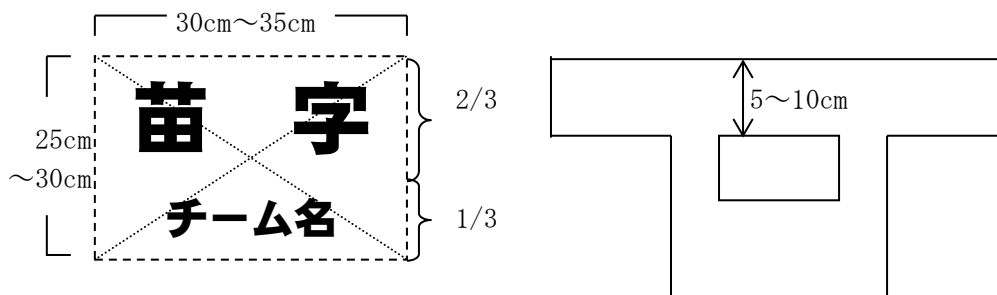
(1) 柔道衣に必ず同一所属名のゼッケンを縫い付けること、異ゼッケン及びついていない選手は出場を認めない。

(2) チームに 2 名以上同じ名字（姓）の場合は、名前の一字を加える。

(3) 名字（姓）は上側、全柔連の団体登録名は下側に記し、下図の例の通り取り付けること。

(4) 布地は白色、書体は太いゴシック体（楷書）で、男子は黒色、女子は濃赤色とする。

(5) ゼッケンのサイズ・取り付け部は下記に示す通り。



19 その他

- (1) 選手・保護者・応援者の昼食は別紙申込用紙にて申し込むこと。  
(費用はチーム負担)
- (2) 申し込み用紙に記載されている事項（氏名・身長・体重等）は、大会プログラムに記載されます。また、大会における写真等が新聞・雑誌・ホームページに掲載されることを了承されたものとして取り扱わせていただきます。
- (3) 体育館駐車場（有料）は駐車台数が少ないので、電車・バスをご利用下さい。  
また、大型車の駐車はできませんのでご注意ください。